

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和7年6月24日
事業者名:	恵中建設株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	天然資源の保全に配慮された商品の活用 岐阜県G-クレジットの森応援パートナーに登録・普及啓発の実施	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに, ⑫つくる責任 つかう責任, ⑬気候変動に具体的な対策を	F S C 認証の紙製品を積極的に購入、利用しています。 岐阜県独自の森林由来のカーボン・クレジット (G-クレジット) の購入実績あり (令和6年度)	指標	F S C 認証製品の購入量 G-クレジットの購入量
				目標	2030年までに、F S C 認証の紙製品購入量を全紙製品購入量の80%にする G-クレジットの購入を年5 t - C O 2以上
社会	地域に貢献する活動として周辺道路や関連地区での清掃活動 地域の次世代を担う人材育成として地元中学生、高校生の職場体験の受入れ 教育支援として資格取得費用全額負担 働き方改革を推進し、魅力のある職場づくりを目指して有給休暇の取得率アップ	③すべての人に健康と福祉を, ⑧働きがいも経済成長も, ⑩住み続けられるまちづくりを	2024年度清掃活動3回実施 2024年度中学生職場体験 1校3名受入れ 高校生のインターンシップ 2校2名受入れ 有給休暇取得率 2024年度70%	指標	清掃活動の実施回数 職場体験の実施回数 有給休暇の取得率
				目標	清掃活動の実施回数 年2回以上 職場体験実施回数 年2回以上 2030年までに、有給休暇の取得率80%以上
経済	持続可能な経済成長を目指し 電子契約システムや建設ICT機器の導入等、業務を効率化し、生産性向上に取り組んでいます。	④質の高い教育をみんなに, ⑩住み続けられるまちづくりを, ⑧働きがいも経済成長も	2020年に自動追尾ノンプリズムトータルステーション、2021年にレイアウトナビゲーター、2022・2024年にNETIS登録を受けた油圧ショベルを導入し情報化施工を実施 国及び県においては電子契約を実施	指標	情報化施工に対応した技術者の育成
				目標	2030年までに2022年度比で全従業員の80%以上を目指す

ガバナンス	チェック	
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 重点項目について具体的内容を社内で共有。 各項目達成のための担当者(リーダー)を定め計画表を作成。 社内会議で進捗状況を報告して事業の改善策を検討している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 http://www.keichu.co.jp/environment/